



糖尿病療養支援チームNEWS

第10号
2018.10月
広報G 編集・発行



★世界糖尿病デーin愛知医大2018★

★11/14は世界糖尿病デー★糖尿病について多くの方に知っていただくことを目的に制定された国際デーです。当院でも糖尿病啓発を目的にイベントを行っており、毎年たくさんの方に参加していただいています。
今年も新企画あります！たくさんの方のご参加、お待ちしております。



職員食堂
シトラス

食堂タイアップ企画
ヘルシーランチ



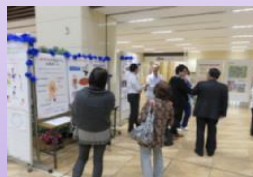
1階
オアシスホール

血糖測定体験



1階
オアシスホール

ポスター展示



糖尿病教室

2階アイブラリー
各日14時-15時

NEW

宅配食紹介
フードモデル展示



NEW

運動療法相談

一般的な運動の方法・効果から個々に合わせた運動のアドバイスまで！
一般相談者を対象に指導・相談を理学療法士が行います。

2階薬剤待合横
月・金/13時-15時

第44回
糖尿病セミナー
2018

特別編

ブルーライトアップセミナー
2018 in 愛知医大
—チームで支える糖尿病治療—

大学本館3階301教室
11月14日(水)
18時30分-20時



詳しくは、
糖尿病療養支援チームまで

“FreeStyle リブレ”ってどんな機器？

「FreeStyle リブレ」は、腕に装着したセンサーで間質液中のグルコース値を連続的に測定し、リーダーでスキャンすることで、連続測定したグルコース濃度の変動パターンを表示するグルコースモニタリングシステムです。2017年9月に保険適応となり、当院でも同年11月に導入されました。

“FreeStyle リブレ”使用時の診察までの流れ



「FreeStyle リブレ」の特徴

- ✓ 14日間のグルコース値とトレンドを明確かつ視覚的な変動パターンとして表示することが可能であるため、今までの血糖自己測定では気付かなかった睡眠時の無自覚低血糖や食後高血糖などを発見することができ、より良い血糖コントロールにつながる
- ✓ 指先穿刺による採血を伴う血糖測定の回数を減らせる可能性がある(現状では無くすことは難しいとされている)
- ✓ 穿刺時の痛みで血糖自己測定がおろそかになっている患者のコンプライアンスを回復させ、意欲的な血糖コントロールにつながる

「FreeStyle リブレ」を使用する上での注意点

- ✓ 血糖値の変化に対する間質液グルコース値の生理的なタイムラグは約5~10分間(間質液の方が遅れて推移)であり、低血糖や高血糖などグルコース値が急激に変化している場合は判断が遅れる可能性がある
- ✓ 血液中のグルコース値に対し間質液中のグルコース値が乖離する場合があるので、低血糖や高血糖、インスリン量を追加するかどうかの判断は指先穿刺による血液中のグルコース値で行う
- ✓ センサーを装着したままX線・MRI・CTなどの画像検査・手術は実施できないため、検査・手術前にセンサーを外し検査・手術後に新しいセンサーを装着する(センサーは再使用できない)
- ✓ 一部の患者で皮膚トラブルが発生する可能性がある

中央臨床検査部で実施している内容

- センサー装着方法の指導
- リーダーの貸出・操作方法の指導
- リーダー内のデータ抽出
- 機器トラブル対応



MRI や手術に行く前に「リブレ」が付いてない確認!!

昨年の導入開始から2018年7月現在までに97台を貸し出しています。
ご不明な点等お問合せは、中央臨床検査部(PHS 77535)へお願いします。

12日(月) 糖尿病の検査
運動療法について

13日(火) 糖尿病の薬物療法

14日(水) 食事療法の基本

15日(木) 歯磨き
フットケアについて

16日(金) 糖尿病合併症
シックデイについて